

総務



4月	第十一代管理者に内海町長川西寿一氏就任。 香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。																																																										
5月	第十一代管理者、内海町長川西寿一氏退任。 第十二代管理者に内海町長坂下一朗氏就任。																																																										
10月	高規格救急車（トヨタグランビア）を購入し、本署へ配置する。																																																										
平成10年10月	日本損害保険協会より水槽付ポンプ自動車（三菱ファイター）の寄贈を受け本署へ配置する。																																																										
平成11年2月	携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定締結。 （高松市消防局、大川広域消防本部、讃岐広域消防本部） 携帯電話119番転送システムを設置する。 2月14日、土庄町湊崎字東丸山甲1665番地3より出火した山林火災は、急斜面の地形により延焼拡大し3日間燃え続け、消防職員・3町消防団の消火活動に加え、香川・高知・愛媛・兵庫・広島・鳥取の各消防防災ヘリ、自衛隊ヘリの応援により、13haを焼失し、16日8時40分鎮火する。																																																										
	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">出動人員（延）</td> <td style="text-align: center;">出動車両（延）</td> </tr> <tr> <td>小豆地区消防本部</td> <td>145名</td> <td>消防ポンプ自動車</td> <td>35台</td> </tr> <tr> <td>土庄町消防団</td> <td>717名</td> <td>小型動力ポンプ付積載車</td> <td>87台</td> </tr> <tr> <td>池田町消防団</td> <td>110名</td> <td>自衛隊車両</td> <td>6台</td> </tr> <tr> <td>内海町消防団</td> <td>100名</td> <td>その他の車両</td> <td>25台</td> </tr> <tr> <td>香川県防災航空隊</td> <td>9名</td> <td>消防防災ヘリ</td> <td>8機</td> </tr> <tr> <td>高知県消防防災航空隊</td> <td>16名</td> <td>自衛隊ヘリ</td> <td>8機</td> </tr> <tr> <td>愛媛県消防防災航空隊</td> <td>13名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>兵庫県消防防災航空隊</td> <td>14名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>広島県防災航空隊</td> <td>6名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鳥取県消防防災航空隊</td> <td>7名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>陸上自衛隊</td> <td>121名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土庄警察署</td> <td>55名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土庄町職員</td> <td>24名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,337名</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	出動人員（延）	出動車両（延）	小豆地区消防本部	145名	消防ポンプ自動車	35台	土庄町消防団	717名	小型動力ポンプ付積載車	87台	池田町消防団	110名	自衛隊車両	6台	内海町消防団	100名	その他の車両	25台	香川県防災航空隊	9名	消防防災ヘリ	8機	高知県消防防災航空隊	16名	自衛隊ヘリ	8機	愛媛県消防防災航空隊	13名			兵庫県消防防災航空隊	14名			広島県防災航空隊	6名			鳥取県消防防災航空隊	7名			陸上自衛隊	121名			土庄警察署	55名			土庄町職員	24名			合計	1,337名		
出動人員（延）	出動車両（延）																																																										
小豆地区消防本部	145名	消防ポンプ自動車	35台																																																								
土庄町消防団	717名	小型動力ポンプ付積載車	87台																																																								
池田町消防団	110名	自衛隊車両	6台																																																								
内海町消防団	100名	その他の車両	25台																																																								
香川県防災航空隊	9名	消防防災ヘリ	8機																																																								
高知県消防防災航空隊	16名	自衛隊ヘリ	8機																																																								
愛媛県消防防災航空隊	13名																																																										
兵庫県消防防災航空隊	14名																																																										
広島県防災航空隊	6名																																																										
鳥取県消防防災航空隊	7名																																																										
陸上自衛隊	121名																																																										
土庄警察署	55名																																																										
土庄町職員	24名																																																										
合計	1,337名																																																										
3月	第十二代管理者、内海町長坂下一朗氏退任。																																																										
4月	第十三代管理者に土庄町長塩本淳平氏就任。 香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。																																																										
平成12年3月	消防本部2階へ通信指令室を設け、消防緊急通信指令システムを更新整備する。																																																										
10月	小豆島防火協会より防火広報車（軽四輪）の寄贈を受け、本署へ配置する。																																																										
平成13年3月	第十三代管理者、塩本淳平氏退任。 消防職員1名退職。職員総数70名となる。																																																										
平成13年4月	第十四代管理者に八木壮一郎氏就任。 消防職員1名採用。職員総数71名となる。																																																										
平成14年1月	消防職員1名退職。職員総数70名となる。																																																										

3月	第六代消防署長、木村敏夫氏退職。職員総数69名となる。																				
4月	第七代消防署長に内海分署長であった森三郎氏が昇任。 消防職員2名採用、職員総数71名となる。 香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。																				
平成15年3月	第十四代管理者、池田町長八木壮一郎氏退任。 第九代消防長、前田忠氏退職。職員総数70名となる。 日本損害保険協会より、高規格救急車（トヨタハイメディック）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。																				
4月	第十五代管理者に内海町長坂下一朗氏就任。 第十代消防長事務取扱に土庄町長三木佑二郎氏任命。 消防職員3名採用、職員総数73名となる。																				
10月	消防次長、高橋忠博氏逝去。職員総数72名となる。																				
12月	消防署長であった森三郎氏が消防次長に昇任。 第八代消防署長に内海分署長であった佐渡達夫氏が昇任。																				
平成16年3月	消防次長、森三郎氏退職。職員総数71名となる。 救助工作車（日野レンジャープロ）を購入し、本署へ配置する。																				
4月	消防署長であった佐渡達夫氏が消防次長に昇任。 第九代消防署長に浜岡成俊氏が昇任。																				
8月	台風16号による高潮被害。 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>内海町</td> <td>床上浸水</td> <td>176戸</td> <td>床下浸水</td> <td>350戸</td> </tr> <tr> <td>土庄町</td> <td>床上浸水</td> <td>523戸</td> <td>床下浸水</td> <td>523戸</td> </tr> <tr> <td>池田町</td> <td>床上浸水</td> <td>49戸</td> <td>床下浸水</td> <td>160戸</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>床上浸水</td> <td>748戸</td> <td>床下浸水</td> <td>1,033戸</td> </tr> </table>	内海町	床上浸水	176戸	床下浸水	350戸	土庄町	床上浸水	523戸	床下浸水	523戸	池田町	床上浸水	49戸	床下浸水	160戸	合計	床上浸水	748戸	床下浸水	1,033戸
内海町	床上浸水	176戸	床下浸水	350戸																	
土庄町	床上浸水	523戸	床下浸水	523戸																	
池田町	床上浸水	49戸	床下浸水	160戸																	
合計	床上浸水	748戸	床下浸水	1,033戸																	
平成17年3月	第十五代管理者、内海町長坂下一朗氏退任。 第十代消防長事務取扱、土庄町長三木佑二郎氏退任。 消防職員1名退職、職員総数70名となる。 消防ポンプ自動車（日野CD-I）を購入し、内海分署へ配置する。																				
4月	第十六代管理者に土庄町長三木佑二郎氏就任。 第十一代消防長に消防次長であった佐渡達夫氏が昇任。 第十代消防署長に総務課長であった中川博行氏が昇任。 消防職員1名採用、職員総数71名となる。 香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。																				
平成18年1月	第十六代管理者、土庄町長三木佑二郎氏退任。第十七代管理者に土庄町長岡田好平氏就任。																				
3月	内海町、池田町（2町）が合併し、小豆島町となる。 消防職員5名退職（勸奨）職員総数66名となる。 消防ポンプ自動車（三菱CD-I）を購入し、池田分署へ配置する。																				
4月	消防職員5名採用、職員総数71名となる。																				
8月	消防職員1名退職、職員総数70名となる。																				

平成 19 年 3 月	第十七代管理者、土庄町長岡田好平氏退任。 消防職員 1 名退職（勸奨）職員総数 6 9 名となる。
4 月	第十八代管理者に小豆島町長坂下一朗氏就任。 消防職員 2 名採用、職員総数 7 1 名となる。
平成 20 年 1 月	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、本署へ配置する。
3 月	消防長、佐渡達夫氏・消防署長、中川博行氏他消防職員 3 名退職（内 3 名勸奨） 職員総数 6 6 名となる。
4 月	第十二代消防長に消防次長であった浜岡成俊氏が昇任。 消防次長に総務課長であった岡田正志氏が昇任。 第十一代消防署長に内海分署長であった森川誠三氏が昇任。 消防職員 3 名採用、職員総数 6 9 名となる。
平成 21 年 3 月	第十八代管理者、小豆島町長坂下一朗氏退任。 消防長、浜岡成俊氏・消防次長、岡田正志氏・消防署長、森川誠三氏 他消防 職員 4 名退職（内 4 名勸奨） 職員総数 6 2 名となる。
4 月	第十九代管理者に土庄町長岡田好平氏就任。 第十三代消防長事務取扱に小豆島町長坂下一朗氏任命。 消防次長に通信指令室長であった今口眞悟氏昇任。 第十二代消防署長に総務課長であった真砂清氏が昇任。 消防職員 7 名採用、職員総数 6 9 名となる。
12 月	日本損害保険協会より、高規格救急車（トヨタハイメディック）の寄贈を受け 内海分署へ配置する。
平成 22 年 3 月	消防職員 2 名退職（勸奨）職員総数 6 7 名となる。
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 6 9 名となる。 第十三代消防長事務取扱 小豆島町長坂下一朗氏退任。 第十四代消防長事務取扱に土庄町長岡田好平氏任命。
平成 23 年 3 月	第十九代管理者、土庄町長岡田好平氏退任。 第十四代消防長事務取扱 土庄町長岡田好平氏退任。 消防次長、今口眞悟氏 他消防職員 2 名退職（内 2 名勸奨） 職員総数 6 6 名となる。
4 月	第二十代管理者に小豆島町長塩田幸雄氏就任 第十五代消防長に消防署長であった真砂清氏が昇任。 消防次長に総務課長であった前田彰夫氏昇任。 第十三代消防署長に消防副署長であった浜脇繁美氏が昇任。 消防職員 3 名採用、職員総数 6 9 名となる。 香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。
平成 24 年 2 月	消防ポンプ自動車（日野 CD-I）を購入し、本署へ配置する。
3 月	消防署長、浜脇繁美氏 他消防職員 2 名退職。職員総数 6 6 名となる。
4 月	第十四代消防署長に総務課長であった石塚昭義氏が昇任。

	消防職員 3 名採用、職員総数 6 9 名となる。
平成 25 年 12 月	指揮車(トヨタヴォクシー)を購入し本部へ配置する。
平成 25 年 3 月	第二十代管理者、小豆島町長塩田幸雄氏退任。 第十五代消防長、真砂清氏・消防次長、前田彰夫氏 他消防職員 4 名退職。(内 3 名勸奨)
	職員総数 6 3 名となる。
平成 26 年 4 月	第二十一代管理者に土庄町長岡田好平氏就任。 第十六代消防長に消防署長であった石塚昭義氏が昇任。 消防次長に情報指令課主幹であった上濱一弥氏が昇任。 第十五代消防署長に総務課長であった須佐美高広氏が昇任。
平成 26 年 1 月	消防職員 6 名採用、職員総数 6 9 名となる。 第二十一代管理者、土庄町長岡田好平氏退任。 第二十二代管理者に土庄町長三枝邦彦氏就任。
平成 26 年 2 月	消防ポンプ自動車(日野 CD-1)を購入し、内海分署へ配置する。
平成 26 年 3 月	消防職員 1 名退職(勸奨) 職員総数 6 8 名となる。
平成 26 年 4 月	消防職員 1 名採用、職員総数 6 9 名となる。 香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。
平成 26 年 8 月	消防救急デジタル無線及び消防指令センター整備工事に着手する。
平成 26 年 9 月	小豆地区消防本部兼小豆島西消防署、小豆島東消防署の建設工事に着手する。
平成 27 年 12 月	高規格救急車(トヨタハイメディック)を購入し、本署へ配置する。
平成 27 年 3 月	消防職員 2 名退職、職員総数 6 7 名となる。 第二十二代管理者、土庄町長三枝邦彦氏退任。
平成 27 年 4 月	第二十三代管理者に小豆島町長塩田幸雄氏就任。 消防職員 2 名採用、職員総数 6 9 名となる。
平成 28 年 10 月	小豆島防火安全協会より防火広報車(軽四輪)の寄贈を受け、本署へ配置する。
平成 28 年 3 月	小豆地区消防本部兼小豆島西消防署、小豆島東消防署落成する。 消防救急デジタル無線及び消防指令センター落成する。 池田分署の業務を終了する。
平成 28 年 4 月	消防職員 1 名退職、職員総数 6 8 名となる。 組織改編に伴い 2 署体制へ移行、業務を開始する。 消防次長兼初代西消防署長に消防署長であった須佐美高広氏が昇任。 初代東消防署長に内海分署長であった木下昌樹氏が就任。
平成 28 年 7 月	消防職員 1 名採用、職員総数 6 9 名となる。
平成 28 年 7 月	消防職員 1 名退職、職員総数 6 8 名となる。
平成 28 年 8 月	査察広報車(軽四輪)を購入し、東署へ配置する。
平成 29 年 12 月	池田港飛行場外離着陸場の整備工事に着手する。
平成 29 年 3 月	池田港飛行場外離着陸場竣工する。 第二十三代管理者、小豆島町長塩田幸雄氏退任。 第十六代消防長、石塚昭義氏退職。職員総数 6 7 名となる。

4月	第二十四代管理者に土庄町長三枝邦彦氏就任。 第十七代消防長に消防次長であった上濱一弥氏が昇任。 消防職員3名採用、再任用1名、職員総数71名となる。 香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。
----	--

5. 主たる総務行事（平成28年）

1月29日	小豆地区広域事務組合議会議員視察研修	(善通寺市)
2月16日	消防団長等幹部研修会	(高松市)
26日	臨時香川県消防長会議	(高松市)
3月11日	小豆地区広域行政事務組合議会定例会	
12日	小豆地区消防本部兼小豆島西消防署・小豆島東消防署落成式	
20日	小豆地区消防本部兼小豆島西消防署・小豆島東消防署一般住民内覧会	
29日	香川県消防協会消防団長等研修	(兵庫県)
～30日		
4月6日	消防職員第63期初任教育入校式	(高松市)
8日	第1回香川県消防長会議	(土庄町)
5月20日	公務災害防止対策セミナー	(高松市)
22日	土器川総合水防演習	(丸亀市)
6月1日	消防功労者定例表彰式	(高松市)
9日	IFCAA2016 OSAKA 全国消防長会総会	(大阪市)
～10日		
12日	小豆地区消防連合会定期総会・表彰式	
15日	香川県消防協会定時評議員会	(高松市)
7月5日	第1回消防学校教育推進協議会	(高松市)
29日	第45回消防救助技術四国地区指導会	(松山市)
31日	小豆島土砂災害40周年行事	
8月24日	第45回全国消防救助技術大会	(松山市)
25日	小豆地区消防本部消防職員委員会	
29日	消防職員初任教育総合訓練に伴う講師派遣	(高松市)
9月11日	第15普通科連隊創立62周年記念行事	(善通寺市)
22日	初任教育生訓練発表会	(高松市)
30日	消防職員第63期初任教育卒業式	(高松市)
10月7日	県下消防署長会議	(丸亀市)
17日	小豆地区広域行政事務組合議会定例会	
24日	第2回消防学校教育推進協議会	(高松市)
25日	消防職員特別教育救急救命士追加講習に伴う講師派遣	(高松市)
～27日		
27日	全国消防長会役員会	(新潟市)
～28日		
11月4日	香川県消防長会議及び消防職員意見発表会	(善通寺市)
15日	警察・消防殉職者協力殉難者合同慰霊祭	(高松市)
25日	全国消防長会四国支部消防長研修会	(高知市)
12月7日	消防職員専科教育警防科に伴う講師派遣	(高松市)
12月13日	小豆地区広域行政事務組合議会定例会	

6. 歴代消防長

平成 29 年 4 月 1 日現在

年 代	氏 名	在 職 期 間	勤 務 年 数	
初 代	清 水 勝	自 昭47. 4. 1 至 昭50. 4. 1	3年	0月
二 代	坂 本 傳	自 昭50. 6. 1 至 昭52. 5. 31	2年	0月
三 代	(消防長事務取扱) 川 北 四十二	自 昭52. 6. 1 至 昭53. 3. 31		10月
四 代	洲 本 勝	自 昭55. 4. 1 至 昭59. 3. 31	4年	0月
五 代	谷 元 哲 彦	自 昭59. 4. 1 至 昭61. 3. 31	2年	0月
六 代	(消防長事務取扱) 八 木 壯 一 郎	自 昭61. 4. 1 至 昭63. 3. 31	2年	0月
七 代	大 谷 隆 生	自 昭63. 4. 1 至 平 5. 3. 31	5年	0月
八 代	中 黒 輝 雄	自 平 5. 4. 1 至 平 7. 6. 6	2年	2月
九 代	前 田 忠	自 平 7. 7. 1 至 平15. 3. 31	7年	9月
十 代	(消防長事務取扱) 三 木 佑 二 郎	自 平15. 4. 1 至 平17. 3. 31	2年	0月
十一代	佐 渡 達 夫	自 平17. 4. 1 至 平20. 3. 31	3年	0月
十二代	浜 岡 成 俊	自 平20. 4. 1 至 平21. 3. 31	1年	0月
十三代	(消防長事務取扱) 坂 下 一 朗	自 平21. 4. 1 至 平22. 4. 22	1年	1月
十四代	(消防長事務取扱) 岡 田 好 平	自 平22. 4. 23 至 平23. 3. 31		11月
十五代	真 砂 清	自 平23. 4. 1 至 平25. 3. 31	2年	0月
十六代	石 塚 昭 義	自 平25. 4. 1 至 平29. 3. 31	4年	0月
十七代	上 濱 一 弥	自 平29. 4. 1 至 現 在		

7. 歴代消防署長

平成 29 年 4 月 1 日現在

年 代	氏 名	在 職 期 間	勤 務 年 数
初 代	清 水 勝	自 昭 4 7. 4. 1 至 昭 4 9. 3. 3 1	2 年 0 月
二 代	役 重 正 則	自 昭 4 9. 4. 1 至 昭 5 6. 4. 1 4	7 年 1 月
三 代	谷 元 哲 彦	自 昭 5 6. 5. 1 至 昭 6 1. 3. 3 1	4 年 1 1 月
四 代	中 黒 輝 雄	自 昭 6 1. 4. 1 至 平 5. 3. 3 1	7 年 0 月
五 代	前 田 忠	自 平 5. 4. 1 至 平 8. 3. 3 1	3 年 0 月
六 代	木 村 敏 夫	自 平 8. 4. 1 至 平 1 4. 3. 1	6 年 0 月
七 代	森 三 郎	自 平 1 4. 4. 1 至 平 1 5. 1 1. 3 0	1 年 8 月
八 代	佐 渡 達 夫	自 平 1 5. 1 2. 1 至 平 1 6. 3. 3 1	4 月
九 代	浜 岡 成 俊	自 平 1 6. 4. 1 至 平 1 7. 3. 3 1	1 年 0 月
十 代	中 川 博 行	自 平 1 7. 4. 1 至 平 2 0. 3. 3 1	3 年 0 月
十 一 代	森 川 誠 三	自 平 2 0. 4. 1 至 平 2 1. 3. 3 1	1 年 0 月
十 二 代	真 砂 清	自 平 2 1. 4. 1 至 平 2 3. 3. 3 1	2 年 0 月
十 三 代	浜 脇 繁 美	自 平 2 3. 4. 1 至 平 2 4. 3. 3 1	1 年 0 月
十 四 代	石 塚 昭 義	自 平 2 4. 4. 1 至 平 2 5. 3. 3 1	1 年 0 月
十 五 代	須 佐 美 高 広	自 平 2 5. 4. 1 至 平 2 8. 3. 3 1	3 年 0 月

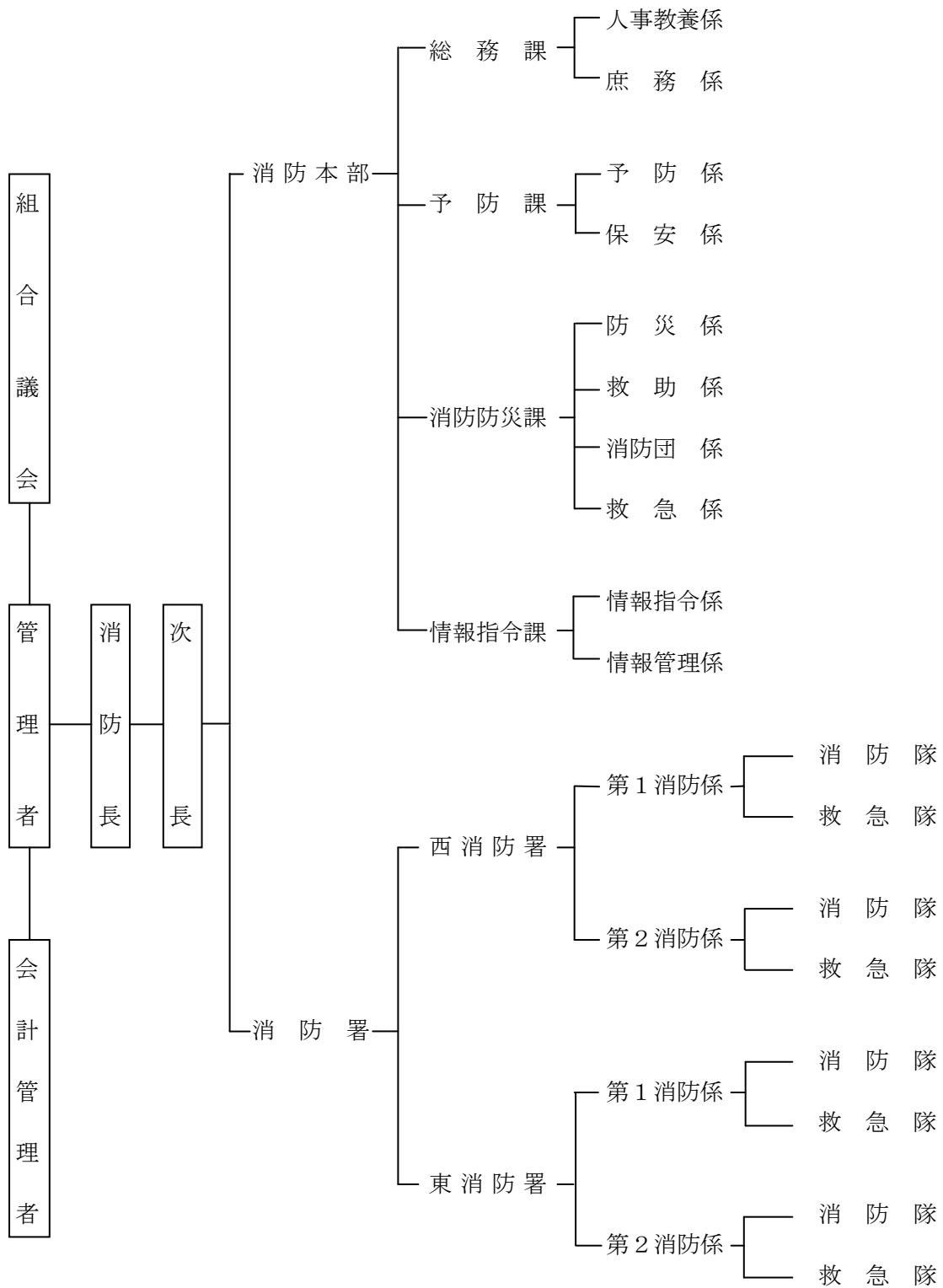
歴代西消防署長

年 代	氏 名	在 職 期 間	勤 務 年 数
初 代	須 佐 美 高 広	自 平 2 8. 4. 1 至 現 在	

歴代東消防署長

年 代	氏 名	在 職 期 間	勤 務 年 数
初 代	木 下 昌 樹	自 平 2 8. 4. 1 至 現 在	

8. 消防の組織・機構



9. 事 務 分 掌

総 務 課

人事教養係

- (1) 職員の任用、服務及び賞罰に関する事項
- (2) 職員の給与に関する事項
- (3) 職員の公務災害補償に関する事項
- (4) 職員の研修及び能率増進に関する事項
- (5) 行政不服審査及び訴訟に関する事項
- (6) 消防長の秘書及び儀式用務に関する事項
- (7) 消防協力者等の災害補償及び表彰に関する事項

庶 務 係

- (1) 公文書の收受及び発送に関する事項
- (2) 完結文書の整理保管に関する事項
- (3) 公印の保管に関する事項
- (4) 規程等の審査に関する事項
- (5) 消防年報に関する事項
- (6) 財産の管理に関する事項
- (7) 消防職員委員会に関する事項
- (8) 各課の総合調整に関する事項
- (9) 他課の所管に属さない事項

予 防 課

予 防 係

- (1) 火災予防の指導に関する事項
- (2) 建築確認等の同意に関する事項
- (3) 防火対象物の消防計画の作成及び訓練の指導に関する事項
- (4) 消防用設備等の設置に関する事項
- (5) 防火対象物の違反処理に関する事項
- (6) 火災の原因及び損害の調査・報告に関する事項
- (7) 火気使用設備等の指導に関する事項
- (8) 消防広報及び広聴に関する事項
- (9) 自主防火・防災組織の育成指導に関する事項
- (10) 防火管理者の育成指導に関する事項
- (11) 防火対象物定期点検報告制度に関する事項
- (12) 前各号のほか、予防業務に関する事項

保 安 係

- (1) 危険物製造所等の許可及び検査に関する事項
- (2) 危険物製造所等の指導取締りに関する事項
- (3) 液化石油ガス設備工事届等に関する事項
- (4) その他危険物関係の指導に関する事項

消 防 防 災 課

防 災 係

- (1) 防災計画に関する事項
- (2) 防災対策に関する事項
- (3) 防災演習に関する事項
- (4) 消防機材の配置及び管理に関する事項
- (5) 各町の地域防災計画に関する事項
- (6) 消防水利に関する事項
- (7) 災害報告に関する事項
- (8) 前各号のほか、防災業務に関する事項

救 助 係

- (1) 救助計画に関する事項
- (2) 前号のほか、救助業務に関する事項

消 防 団 係

- (1) 消防団計画に関する事項
- (2) 前号のほか、消防団業務に関する事項

救 急 係

- (1) 救急計画に関する事項
- (2) 救急運用に関する事項
- (3) 救急資機材の配置及び管理に関する事項
- (4) 救急、救助年報に関する事項
- (5) 前各号のほか、救急業務に関する事項

情 報 指 令 課

情報指令係

- (1) 通信指令に関する事項
- (2) 前号のほか、情報指令に関する事項

情報管理係

- (1) 個人情報に関する事項
- (2) 前号のほか、情報管理に関する事項

10. 管内面積及び人口、世帯数

平成 29 年 4 月 1 日現在

区 分 町 別	面 積 (km ²)	人 口			世 帯 数 (世帯)
		男 (人)	女 (人)	計 (人)	
土 庄 町	74.37	6,778	7,594	14,372	6,814
小 豆 島 町	95.59	7,216	7,868	15,084	7,048
合 計	169.96	13,994	15,462	29,456	13,862

(住民基本台帳による)

1 1. 消防庁舎の現状

区分 署所別	所在地	構造	建築延面積	竣工年月日
消防本部 兼西消防署	香川県小豆郡土庄町 甲 557 番地 10	鉄筋コンクリート 4 階 建	2,482.3 m ²	H27.12.28
東消防署	香川県小豆郡小豆島町安田 甲 144 番地 90	鉄筋コンクリート 4 階 建	951.9 m ²	H27.12.28

1 2. 職員の勤務年数

平成 29 年 4 月 1 日現在

階級別 年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
1 年 未 満						3	3
1 年 ~ 2 年未満						1	1
2 年 ~ 3 年未満						2	2
3 年 ~ 4 年未満						1	1
4 年 ~ 5 年未満						6	6
5 年 ~ 10 年未満					1 3	5	1 8
10 年 ~ 15 年未満				5	5		1 0
15 年 ~ 20 年未満				2			2
20 年 ~ 25 年未満			4	2			6
25 年 ~ 30 年未満		1	1 0				1 1
30 年 以 上	1	8	1				1 0
合 計	1	9	1 5	9	1 8	1 8	7 0
平 均	39.0	35.6	26.1	15.2	8.7	3.3	15.7

(※再任用職員 1 名を除く)

13. 職員の年齢

平成29年4月1日現在

階級別 年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
18才～20才						2	2
21才～25才					1	11	12
26才～30才					10	5	15
31才～35才				3	7		10
36才～40才				6			6
41才～45才			7				7
46才～50才			8				8
51才～55才		7					7
56才～60才	1	2					3
合計	1	9	15	9	18	18	70
平均年齢	59.0	54.0	45.6	35.8	29.7	24.0	36.0

(※再任用職員1名を除く)

14. 職員の配置状況

平成29年4月1日現在

階級別 署所別	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
消防本部	1	7	6	7	8	12	41
西消防署		(4)	(6)	(7)	(8)	(9)	(34)
東消防署		2	9	2	9	6	28
県防災航空隊					1		1
合計	1	9	15	9	18	18	70

(※ () 内は兼務 再任用職員1名を除く)

15. 消防力の現勢

平成 29 年 4 月 1 日現在

署所・人員

	現 有 数
署 所 数	2
指 揮 隊 員	7
消 防 隊 員	36
救 急 隊 員	16
救 助 隊 員	0 (兼務18)
通 信 要 員	5
予 防 要 員	19 (兼務18)
庶務処理等の要員	6

車両

	現 有 数	
消 防 ポ ン プ 自 動 車	4	
は し ご 自 動 車	1	
救助工作車 (省令第4条)	1	
高 規 格 救 急 車	4	
特 殊 車 等	指 揮 車	1
	査 察 広 報 車	2
	小型ポンプ付水槽車	1
	そ の 他 の 車 両	3

	基 準 数	現 有 数	充 足 率
消 防 水 利	898	451	50.2

16. 消防職員・消防車等に対する人口及び世帯数の割合

平成 29 年 4 月 1 日現在

区 分	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)	面 積 (k m ²)
種 別			
消 防 職 員 1 人 当 り	421	198	2.43
消 防 ポ ン プ 自 動 車 1 台 当 り	7,364	3,466	42.49
救 急 車 1 台 当 り	7,364	3,466	42.49
署 1 ケ 所 当 り	14,728	6,931	84.98

17. 消防予算

(1) 歳入

(単位：千円)

区 分	平成 28 年度 予算額	平成 29 年度 予算額
1. 分担金及び負担金	594,251	601,989
2. 使用料及び手数料	100	100
3. 国庫支出金	0	0
4. 県支出金	0	0
5. 財産収入	0	0
6. 寄付金	0	0
7. 繰越金	0	0
8. 諸収入	0	0
9. 組合債	0	14,000
合 計	594,351	616,089

(2) 歳出

(単位：千円)

区 分	平成 28 年度 予算額	平成 29 年度 予算額
1. 総務費	503,178	519,821
2. 予防費	985	1,033
3. 警防費	5,601	5,152
4. 救急費	5,703	5,598
5. 通信費	4,398	19,514
6. 施設費	48,411	35,845
7. 公債費	26,075	29,126
合 計	594,351	616,089

18. 平成29年度町別一般会計予算と消防予算

(単位：千円)

区 分	土 庄 町	小豆島町	合 計
一般会計予算額	7,733,000	9,812,000	17,545,000
消防費	311,374	374,019	685,393
常備消防費	264,533	337,456	601,989
非常備消防費	43,639	32,041	75,680
消防施設費	0	3,100	3,100
水防費	800	1,419	2,219
災害対策費	2,402	3	2,405
一般会計と消防費の比(%)	4.0	3.8	3.9
住民1人当りの消防費用(円)	22,860	24,796	23,828
一世帯当たりの消防費用(円)	52,473	53,067	52,770

19. 消防費基準財政需要額及び町負担金(予算額)

(単位：千円)

町別	平成 28 年度 消防費基準財政需要額	平成 29 年度 町負担金
土 庄 町	247,832	264,533
小 豆 島 町	317,801	337,456
合 計	565,633	601,989

20. 職員特殊技能資格取得状況

平成29年4月1日現在

種 別		階 級 別		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
		大 型	中 型							
自 動 車 運 転 免 許	大 型	1	4	8	6	16	8	43		
	中型 (11t未満)						1	1		
	中型 (8t限定)		5	7	3	2	1	18		
	準中型 (7.5t未満)						2	2		
	準中型 (5t限定)						6	6		
	普 通									
クレーン・玉掛け・巻き上げ機 (クレーン・玉掛け)		(1)	(3)	4 (3)	4	2		10 (7)		
消防用設備点検資格者 第1種・第2種				1				1		
消 防 設 備 士 許 免			1	4	1	8	3	17		
危 険 物 取 扱 者 許 免			1	7	5	17	9	39		
予 防 技 術 検 定			1	5	1	4		11		
第 二 級 陸 上 特 殊 士 無 線 技 士		1	5	10	6	4		26		
第 三 級 陸 上 特 殊 士 無 線 技 士			2	1				3		
第 四 級 ア マ チ ュ ア 士 無 線 技 士			1					1		
小 型 船 舶 操 縦 士 許 2 級 免 許			5	9	1	7	1	23		
救 急 救 命 士			3	6	4	2	4	19		
応 急 手 当 員 指 導			7	14	9	10	2	42		
石 油 機 器 技 術 管 理 士			1	1				2		
第 II 種 酸 素 欠 乏 者 危 険 作 業 主 任 者			2	8	6	9		25		
潜 水 士				4	2	4		10		
特 定 化 学 物 質 等 者 作 業 主 任 者			1	2				3		

(※再任用職員1名を除く)

21. 職員教養状況調

平成29年4月1日現在

階 級 別 区 分		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
		消 防 大 学 校	上 級 幹 部 科					
幹 部 科			3					3
警 防 科								
予 防 科								
救 急 科								
救 助 科				1				1
香 川 県 消 防 学 校	初 任 教 育	1	9	15	9	18	18	70
	初 級 幹 部 科			4				4
	中 級 幹 部 科		2	1				3
	上 級 幹 部 科		2					2
	予 防 査 察 科		7	3	2	3		15
	危 険 物 科			3		2		5
	火 災 調 査 科	1	2	4	4	2		13
	特 殊 災 害 科	1	3	2	2			8
	警 防 科			5	2	3		10
	救 急 科	1	4	15	9	13	3	45
	救 助 科	1	3	7	6	9	2	28
そ の 他	救 急 救 命 士		3	6	4	1		14

(※再任用職員1名を除く)

22. 職員の居住地調

平成29年4月1日現在

階 級 別 区 分		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
		土 庄 町	1	2	7	7	15	6
小 豆 島 町		7	8	2	3	12	32	
合 計		1	9	15	9	18	18	70

(※再任用職員1名を除く)

23. 職員任用退職状況調

平成 29 年 4 月 1 日現在

年度	区分	新任	退職	転入出		職員総数
				入	出	
昭和 63 年		1				69
平成 元年		3	2			70
平成 2 年		2	2		1	69
平成 3 年		3	2		1	69
平成 4 年		2	1			70
平成 5 年		2	2		1	69
平成 6 年		2				71
平成 7 年						71
平成 8 年		2	1	1	2	71
平成 9 年						71
平成 10 年						71
平成 11 年						71
平成 12 年						71
平成 13 年		1	1			71
平成 14 年		2	2			71
平成 15 年		3	1			73
平成 16 年			2			71
平成 17 年		1	1			71
平成 18 年		5	5			71
平成 19 年		2	2			71
平成 20 年		3	5			69
平成 21 年		7	7			69
平成 22 年		2	2			69
平成 23 年		3	3			69
平成 24 年		3	3			69
平成 25 年		6	6			69
平成 26 年		1	1			69
平成 27 年		2	2			69
平成 28 年		1	2			68
平成 29 年		3	1	1(再任用)		71

24. 職員の推移

平成 29 年 4 月 1 日現在

階級別 年度別	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
平成 元年	1	1	4	7	38	13	6	70
平成 2 年	1	1	5	7	36	11	8	69
平成 3 年	1	2	4	10	31	12	9	69
平成 4 年	1	2	4	14	28	10	11	70
平成 5 年	1	2	3	18	26	9	10	69
平成 6 年	1	2	3	18	26	9	12	71
平成 7 年	1	2	4	19	26	8	11	71
平成 8 年	1	4	3	17	25	11	10	71
平成 9 年	1	4	3	22	22	11	8	71
平成 10 年	1	4	3	27	18	13	5	71
平成 11 年	1	4	3	28	19	12	4	71
平成 12 年	1	5	4	30	16	12	3	71
平成 13 年	1	4	4	32	15	12	3	71
平成 14 年	1	3	5	32	15	11	4	71
平成 15 年		3	9	29	15	12	5	73
平成 16 年		2	9	29	17	9	5	71
平成 17 年	1	2	8	30	16	8	6	71
平成 18 年	1	5	3	29	17	5	11	71
平成 19 年	1	5	6	27	15	6	11	71
平成 20 年	1	3	7	25	14	7	12	69
平成 21 年		2	5	23	14	6	19	69
平成 22 年		2	9	21	10	7	20	69
平成 23 年		1	13	15	12	6	22	69
平成 24 年		1	13	15	11	9	20	69
平成 25 年		1	7	15	11	10	25	69
平成 26 年		1	8	14	12	9	25	69
平成 27 年		1	9	14	9	14	22	69
平成 28 年		1	8	16	8	19	17	69
平成 29 年		1	9	15	9	18	18	70

(※再任用職員 1 名を除く)